

## 89 ショベール編 『ミニチュア版 世界』

Shoberl, Frederic (ed.). *The world in miniature*, 43 vols. London, R. Ackermann, 1821—1828. 14.3×9.0cm <382.08-W-1~43>  
Hiler p. 796-7 Colas 2722—2723 Lipp. 1580

1820年代にかけてロンドンのアッカーマン社から刊行された「文庫本・世界のすべて」とでもいべき全43巻のシリーズもの。編者のF・ショベールはロンドン生れの著述家で、多彩な編集活動をした編集者としても知られている。

彼は、やはり当時著名な出版業者ルドルフ・アッカーマン (Rudolph Ackermann) と交友関係をもち、本館にも所蔵されている『芸術の宝庫』*The repository of arts* (103) の編集にも携わっており、本書もアッカーマン社から刊行されている。

高さ15cm幅10cmの小型本ながら世界各地の民族・風俗・習慣・国民性・宗教・衣服などすべて盛りこもうとする広大な企画は、ナポレオン戦争に勝利し、名実ともに世界に君臨する大英帝国の勢いを思わせるが、その内容は、すでに刊行されてきた紀行書や探検記を博学なショベールが再編集したものといえることができる。

全43巻は具体的には16の地域に区分され、発行年順に紹介すると以下のとおりである。

1. イタリアとダルマチア (2巻) 2. アフリカ (4巻) 3. トルコ (6巻) 4. ヒンドスタン (北インド) (6巻) 5. ペルシャ (3巻) 6. ロシア (4巻) 7. オーストリア (2巻) 8. 中国 (2巻) 9. 日本 (1巻) 10. オランダ (1巻) 11. 南洋諸島 (2巻) 12. アジア諸島とオーストラリア (2巻) 13. チベット (1巻) 14. スペインとポルトガル (2巻) 15. イングランド・スコットランドとアイルランド (4巻) 16. スイス (1巻) 各巻とも衣服の章にはかなりの頁数が当てられており、それぞれの国々の服装が詳細に紹介されている。また色刷りの銅版画によって各国の民族服が描かれているが、不正確なものがあるのも否めない。たとえば日本編の、56頁に描かれた図は日本の長崎役人であるが、髷と二本差以外は、羽織、袴、帯ともに不正確である。この日本編はケンペルの『日本誌』クルゼンシュテルンの『日本紀行』や長崎のオランダ商館からの報告などに依っている。

なお「日本人の性格」という章には、「概して日本人はハンサムで格好いとみなすことはできない」が、「中国人よりは肉体的にも精神的にもすぐれており、ツンベルク(『日本紀行』(1796)の著者)は日本人を知的で、思慮深く、好奇心強く、勤勉で、器用で、まじめで、勇敢で誉り高く……(中略)…と性格づけている」と記されている。(瀬川)